

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I・III・V 】																											
2 実施対象者	学校名 : 千葉市立泉谷小学校 対象学年 : 第2学年 クラス(人数): 2クラス(人)																											
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (<u>体育科</u> ・保健体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()																											
4 目標 (ねらい)	モデル校での実践等を通して、体育・保健体育の学習を充実させ、子供たちが、よりスポーツを好きになり、生涯にわたって運動に親しむ資質を育むこと、健康の保持増進のための実戦力の育成と体力の向上を図ることを目的とする。																											
5 取組内容	<道すじ> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:5%;"></th> <th style="width:10%;">1</th> <th style="width:15%;">2</th> <th style="width:15%;">3</th> <th style="width:15%;">4</th> <th style="width:10%;">5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">0</td> <td rowspan="2" style="text-align:center; vertical-align:middle;">オリエンテーション</td> <td colspan="4" style="text-align:center;">つながる運動 (2人でころがし遊び)</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">↓</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ねらい① やさしいルールで「ころがしボールゲーム」を楽しむ。 (目かくし・守りなし) </td> <td colspan="3" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ねらい② 目かくしをしたり、ゴールに守りをつけたりして「ころがしボールゲーム」を楽しむ。 (せめ・守りともに目かくし) </td> </tr> <tr> <td style="text-align:center; vertical-align:middle;">45</td> <td></td> <td colspan="3"></td> <td style="text-align:center;">まとめ</td> </tr> </tbody> </table> <p>*パラスポーツへの理解関心を高めるとともに、多様性を受け入れ、共生社会の実現を目指そうとする姿を育むため、オリエンテーションや配当時間外の時間を使い、ゴールボールの実際の競技映像を見せて競技の様子をつかませたり、ゴールボールのルールを紹介したりした。</p> <p><手だて> ① ボール ・ねらい①では、ねらい②での目隠しでの活動に慣れるため、鈴入り</p>						1	2	3	4	5	0	オリエンテーション	つながる運動 (2人でころがし遊び)				↓	ねらい① やさしいルールで「ころがしボールゲーム」を楽しむ。 (目かくし・守りなし)	ねらい② 目かくしをしたり、ゴールに守りをつけたりして「ころがしボールゲーム」を楽しむ。 (せめ・守りともに目かくし)			45					まとめ
	1	2	3	4	5																							
0	オリエンテーション	つながる運動 (2人でころがし遊び)																										
↓		ねらい① やさしいルールで「ころがしボールゲーム」を楽しむ。 (目かくし・守りなし)	ねらい② 目かくしをしたり、ゴールに守りをつけたりして「ころがしボールゲーム」を楽しむ。 (せめ・守りともに目かくし)																									
45					まとめ																							

	<p>ソフトタッチボールを使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらい②では、ころがした際の音がよく聞こえるように、鈴入りソフトタッチボールをビニール製の手提げ袋に入れてころがした。 <p>② アイマスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目隠しをする際は、バンダナなどをはちまきのように細くして目隠しをした。その際、衛生面から、これらのものの貸し借りはせず、個人で管理するようにした。 <p>③ 場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらい①では、カラーコーンの間（ゴール）の間隔を1mと固定し、投げる距離によって得点のルールを設定した。 ・ねらい②では、攻撃も守備もアイマスクを着用するため、投げる距離によってのみ得点のルールを設定した。 (コーンの間隔を3mと固定) <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらい①及びねらい②において、攻撃前はしずかにすることとなる。しかし、低学年の子どもが仲間を注意する場合、難しい場合が考えられるため、実況・補助役の子どもには、「しずかに」などと書かれたプラカードを持たせ、攻撃側が投げる前に掲げさせた。「札があがったら口を閉じる」というルールをつくり、指導した。
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい動きの運動のため、多くの子どもが楽しみながら取り組むことができた。 ・「ころがしボールゲーム」を通して、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めることができた。 ・ボールを目で追うのではなく、耳でボールがどこに転がってくるかという特性に触れることができた。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アイマスクとしてバンダナを用いた。 ・ボールが転がる音がよく聞こえるように鈴入りソフトタッチボールにビニール袋をまいて使用した。 ・朝の帯学習の時間を活用してパラリンピックの意義や歴史に関する読み聞かせを実施した。 ・ゴールの間隔を固定してゲームを実施した。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程や体育の年間指導計画等にどのように位置づけて実践していくとより効果があるか検討していく必要がある。
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有意義な活動であるので位置づけを検討した上で実施していきたい。